

2020 年度  
(令和 2 年度)

事 業 報 告 書

学校法人 頌栄保育学院

## I 法人の概要 (2020年5月1日現在)

法人名 学校法人頌栄保育学院  
所在地 兵庫県神戸市東灘区御影山手1丁目18番1号  
電話 078-842-2541  
ファックス 078-851-2154

### 1) 建学の精神

「神をわれらの主とあがめ、神の子イエス・キリストをわれらの救い主とする信仰に立ち、創設者アニー・L・ハウがもっとも信奉されたフレーベルの教育理念を幼児の保育に生かした教育・研究・実践を通して、広く神と人にとに仕えること。」

頌栄保育学院は、1889年アメリカン・ボードの教育宣教師アニー・L・ハウによって開設された、現存する日本最古の保育者養成校から始まっている。頌栄とはGLORYの訳で、神の栄光をほめたたえるという意味であり、子どもに仕える保育の業が、神の栄光を現すものであるようにとの祈りが込められた名称である。

### 2) 学校法人の沿革

- 1889年10月22日 日本で最初の私学の保育養成校として、頌栄保姆伝習所  
(現頌栄短期大学の前身) 創設
- 1889年11月4日 頌栄幼稚園創設
- 1908年9月17日 兵庫県から幼稚園保姆無試験検定の指定
- 1935年6月16日 頌栄保育専攻学校に改組
- 1950年3月14日 頌栄短期大学の設置認可、保育科設置
- 1951年3月5日 学校法人頌栄保育学院を設置
- 1953年3月5日 厚生大臣から保姆資格試験の科目免除校の指定
- 1958年3月18日 保育専攻科(修学年限1年)の設置認可
- 1964年3月14日 厚生大臣から保姆養成所の認可(児童福祉施行令規定による)
- 1979年8月1日 学校法人頌栄保育学院の位置変更の認可
- 1980年4月1日 文部大臣、厚生大臣から定員増(学則変更)の認可  
(60人から100人)
- 1991年3月30日 文部大臣から寄附行為の変更認可を得て、頌栄人間福祉専門学校設立
- 1994年2月1日 頌栄短期大学専攻科(保育専攻)を学位授与機構が認定
- 2000年2月15日 学位授与機構から頌栄短期大学専攻科(保育専攻)の2年制が認定
- 2000年3月21日 頌栄短期大学保育専攻科 保育専攻に課程認定
- 2006年4月1日 文部科学大臣、厚生労働大臣から定員増(学則変更)の認可  
(100人から150人)
- 2009年11月30日 頌栄人間福祉専門学校 廃校
- 2014年10月25日 創立125周年記念式典を挙行政
- 2019年10月26日 創立130周年記念式典を挙行政
- 2021年4月1日 文部科学大臣、厚生労働大臣から定員減(学則変更)の認可  
(150人から125人)

3) 設置する学校の名称・所在地

頌栄短期大学 保育科・専攻科

兵庫県神戸市東灘区御影山手1丁目18番1号

頌栄幼稚園

兵庫県神戸市東灘区御影山手1丁目18番1号

4) 役員・評議員の概要

理事 11名

理事長	菅根	信彦	理事	須田	巖
副理事長	棟方	信彦	理事	西澤	他喜衛
理事	相澤	弘典	理事	水野	雄二
理事	乾	征夫	理事	森	孝一
理事	清水	嘉津子	理事	吉田	啓子
理事	下村	俊子			

監事 2名

監事	山口	徹	監事	渡邊	治夫
----	----	---	----	----	----

評議員 26名

評議員	相澤	弘典	評議員	西村	真深
評議員	飯	謙	評議員	西澤	他喜衛
評議員	稲付	容子	評議員	原	寛
評議員	王子	静子	評議員	原田	壽美子
評議員	小野	里佳	評議員	福井	恵子
評議員	澤	幸子	評議員	福田	修也
評議員	清水	嘉津子	評議員	前田	次郎
評議員	下村	俊子	評議員	棟方	信彦
評議員	菅根	信彦	評議員	山口	政紀
評議員	関田	良	評議員	山路	喜代子
評議員	高倉	京子	評議員	山本	俊正
評議員	竹田	契一	評議員	横山	順一
評議員	塚本	潤一	評議員	吉田	啓子

5) 教職員の概要

教職員数

頌栄短期大学

	男	女	合計
教員	6	9	15
(教授)	2	3	5
(准教授)	2	1	3
(講師)	2	5	7
(助教)	0	0	0
職員	4	7	11
合計	10	16	26

頌栄幼稚園

	男	女	合計
教諭	1	7	8
計	1	7	8

6) 短期大学・幼稚園の入学定員、学生・園児数の状況

頌栄短期大学

保育科

	入学定員	現員数		
		男	女	合計
保育科 1 年	150	3	113	116
保育科 2 年	150	1	92	93
計	収容定員 300	4	205	209

専攻科

	入学定員	現員数		
		男	女	合計
専攻科 1 年	20	1	3	4
専攻科 2 年	20	0	6	6
計	収容定員 40	1	9	10

頌栄幼稚園

	定員	園児数
年少	100	23
年中		34
年長		38
計	100	95

7) 卒業、修了者数

2020年3月 頌栄短期大学 保育科卒業生数 105名  
 専攻科（保育専攻）修了生数 3名  
 頌栄幼稚園 第131回卒業園児数 35名

8) 校地・校舎・設備等の状況

校地等 (㎡)

校地等	区分	専用 (㎡)	共用 (㎡)	共用する学校等の専用 (㎡)	計 (㎡)	基準面積 (㎡)	在籍学生一人当たりの面積 (㎡)	備考 (共有の状況等)
	校舎敷地	5,482	0	0	5,482	3,000	66.2	
	運動場用地	8,421	0	0	8,421			
	(小計)	13,903	0	0	13,903			
	その他	13,698	0	0	13,698			
	合計	27,601	0	0	27,601			

校舎 (㎡)

区分	専用 (㎡)	共用 (㎡)	共用する学校等の専用 (㎡)	計 (㎡)	基準面積 (㎡)	備考 (共有の状況等)
校舎	7,621	0	0	7,621	2,850	

教室等 (室)

講義室	演習室	実験実習室	情報処理実習室	語学学習施設
14	23	4	1	0

専任教員研究室 (室)

専任教員研究室
16

設備

図書館	面積 (㎡)	閲覧席数	蔵書冊数
	375 (事務室徐)	56	108,756
体育館	面積 (㎡)	体育館以外の施設の概要	
	2,081	なし	

## II 頌栄短期大学の取組

### 1) キリスト教教育の取組

2020年度に学院創立131周年を迎えた。その歴史は、我が国で現存する最古のキリスト教主義保育者養成機関としての伝統を有しているが、その根幹は宗教部が担っている。宗教部は、入学式、卒業式などの各種式典をキリスト教の礼拝形式で執り行ない、その実施運営にあたっているが、2020年度は新型コロナウイルスの影響により様々な制約を受け、例年と異なる対応をせざるを得なかった。

新入生がキリスト教と出会う入学式、建学の精神に触れる春季キリスト教研修会も中止となった。6月以降、補充授業に合わせて礼拝を計画し、継続礼拝も実施した。専攻

科1年生対象の春季キリスト教研修会は、9月にキリスト教研修会として実施した。後期に入って、対面授業の終わりに学年別に礼拝を実施することができるようになり、11月の秋季キリスト教研修会では、1年生に向けて神戸教会の菅根信彦牧師により「建学の精神と神戸教会」について講演をしていただくことで、春季キリスト教研修会の補いとすることができた。2年生はM.L.キング牧師を描いた映画を通して愛と人権について理解を深めた。クリスマス行事は縮小して実施した。クリスマス礼拝は午前と午後に分けて学年ごとに実施し、ページェントは総合表現で学生が制作した動画を編集して

「VISUAL PAGEANT 2020」と題して上映した。恒例のクリスマスの夕べは、中止した。1月以降は、再び遠隔授業中心となったため、礼拝の最終回をオンデマンドで配信した。また、卒業礼拝についても動画を作成し配信した。卒業式については保護者、来賓、在校生に出席をご遠慮いただき、卒業生のみで午前と午後の2回に分けて実施した。このような状況の中でも、学生達の旅立ちの時を祝福して送り出すことができたことを感謝したい。

この一年間、多くの行事や日常的な取り組みが延期や中止となり、宗教部としての働きがままならなかったが、礼拝の教室間配信や、動画での配信など、今までになかった取り組みによって、できた活動がある。「できない」で終わらずに、その中でできること、今だからできること、するべきことを模索し、キリスト教精神、建学の精神などを伝えるべく努力してきた。

## 2) 教学支援の取組

2020年度より学務部を教務部と学生支援部に分割した。

教務の主な取組

### ①主体的に学ぶ学生の育成

- ・入学前教育の音楽レッスンに模擬授業を加え、初年次教育との連携を強化。
- ・コロナ禍による遠隔授業により、対面による直接対応が不十分になった一方、授業支援システムにより、個別の助言を綿密に行い、学修支援方法の今後の手がかりを得た。

### ②授業の遠隔化、ICT化

- ・学修環境の整備としてのICTは、遠隔授業の導入や、同窓会から支援によるWi-Fi装置設置など、急速に進むこととなった。また、遠隔授業のための支援システム「Pholly」の導入により、プラットフォーム整備の足掛かりができた。
- ・4月から5月にかけて、印刷物の使用による遠隔授業を行いつつ、5月半ばから本格的にPhollyの活用による遠隔授業を実施した。
- ・前期はPholly導入期として、成績評価の公平性担保のため、評価段階のSとDを除き、A・B・Cの3段階とした。6月中旬以降は、補充学習のための対面授業も実施した。また、一部に動画によるオンデマンド授業やZoomによるオンタイム授業も開始した。
- ・後期は感染予防に配慮し、学年の登校時間を午前と午後に分け、対面と遠隔を混合させるハイブリッド授業を実施した。授業をはじめ対面場面での感染防止対策を徹底し、結果として後期終了まで感染者を出すことなく終了した。
- ・シラバスは、遠隔授業のために変更を余儀なくされたが、毎週のレポート提出とフィードバックにより、カリキュラムマップ、カリキュラムフローチャート、ナンバリングの関係を保つことができた。

- ・「総合表現」は実施6年目となったが、コロナ禍により、ICTを活用したデジタルページメントとして新しい形式で実施された。2022年度からの新教育課程との繋となった。
- ③基礎力測定「PROG」を2020年度生にも実施。主に実習や進路選択の資料として用いるため、2年次にも継続して扱う。

### 学生支援の主な取組

新型コロナウイルスの影響への対応に多くを費やした。

#### ①奨学金関係

- ・新たな奨学金制度開始：日本基督教団神戸教会給付奨学金および頌栄短期大学緊急給付奨学金の運用を始めた。ただし、頌栄短期大学緊急給付奨学金については、日本学生支援機構とオリコ教育ローンの利用等から、申請はなかった。また、一般財団法人報国積善会より2021年度（単年度）の「一般財団法人報国積善会学生支援給付金」の申し出を受け、募集や審査などの準備を行った。
- ・「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』（文部科学省）：新型コロナウイルス感染症の影響による家計急変に対応する「学びの継続」のための「学生支援緊急給付金」について審査および申請を行った。

#### ②学生の福利厚生

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による食堂委託業者の交替と再開準備、食堂席の再配置・感染対策を行った。
- ・感染症予防のために学内掲示、口頭での説明をはじめ、教員の登下校時指導など、さまざまな注意喚起を行った。しかし、学生の認識が不十分であると見受けられたため、神戸市に依頼して新型コロナウイルスに関する講演会を開催し、保育科1年生について実施した。保育科2年生および専攻科生については緊急事態宣言のため、中止せざるを得なかった。

#### ③休養室と学生相談室

- ・遠隔授業に伴う学生相談体制の変更等：休養室は緊急事態宣言下での登校状況に対応して開室し、学生相談室も状況に応じて電話相談、電話相談と対面相談の併用、通常開室を行った。
- ・フリールームについては、十分な喚起が困難なため、使用を中止した。

#### ④自治会活動

- ・学生主体の活動である、学生自治会やクラブ・同好会活動、大学祭（頌栄祭）等、いずれも新型コロナウイルス影響のもと活動が制限され、大学祭、クリスマス祝会、卒業パーティーはすべて中止となった。登校が制限されるなかで自治会・クラブ・同好会の活動も非常に難しく、学生のみでの運営ができない状況であったため、学生支援部が支援を行った。

### 3) 進路支援の取組

#### ①2020年度在学生対象進路支援について

- ・進路ガイダンスはキャリア科目との調整を図りながら実施した。進路ガイダンスは、社会人、保育者としての基礎的な常識・マナー等の指導、作文、就職試験対策、模擬試験、模擬面接、履歴書の指導やキリスト教主義園内定者へのガイダンスなどで構成し、社会人としての職場の人間関係やストレスに向う心構えについ

でも指導している。また「就職の手引き」を進路支援に活用している。2020年度は新型コロナウイルス感染症影響での登校制限の下、対面で実施できなかったため個別対応を行い、例年以上にきめ細かい支援をした。

- ・進路資料室では、求人情報や就職フェア等の情報、卒業生の受験報告書や過去の求人状況、就職関係書籍等の資料が閲覧できるほか、パソコンによる就職情報検索環境や、相談用の個室を整えている。求人情報に関しては「キャリアへのアプローチ」の遠隔授業のシステムを利用して、Web上で求人票や就職フェアの情報を閲覧できるようにし、またメールで情報を配信した。

私立幼稚園・保育園の各団体との懇談会等については対面での開催はなかった。また、自治体、団体単位で開催される保育職の就職フェアについても対面での開催が制限されたが、情報収集・提供を積極的に行った。

- ・進路状況は2020年度も100%の保育職就職率を達成している。求人数は県外からの求人や新規園からの求人数が増加し、年々前倒しの状況にある。求人数が多いため就職率は100%となっているが、対面での指導の機会が少ないため、保育職への熱意や就職先への志望動機が高まらず、就職活動の進まない学生が若干みられる。進路支援室スタッフと担当教員の連携による志望動機や就職への意識を明確にさせる取り組みが必要となっており、教職員の意識の共有が図られることが不可欠である。

#### ②卒業生の支援について

新卒業生の就職先は全て教職員が訪問している。例年7月に開いている新卒業生懇談会およびそれ以前の卒業生も含めた11月の「卒業生のつどい」は感染症の影響で開催できなかった。

過年度の卒業生が退職・再就職の相談に来ることから、卒業生の相談窓口としての役割も求められ、再就職斡旋システムの必要性も感じられた。

#### 4) 入試広報の取組

##### 入試の取組

年度最初の入試である総合型選抜（旧AO入試）では、昨年度を若干上回ることとなったが、学校推薦型選抜I期（旧公募推薦）、指定校推薦、ファミリー入試において、昨年度を大きく下回った。

新型コロナウイルス感染症に対する学内対応のため、従来通りの評価方法を新たな入試制度に対応するものとして実施する予定であったが、今回はとりわけ音楽にかかわる評価について実施を見送ることを余儀なくされた。

同様に、新型コロナウイルス感染症に対する学内対応のため、入試制度における減免と奨学金については、一般選抜での減免対応を除き大胆な措置は実施しなかった。

##### 広報活動の取組

知名度の低さが募集減少の主要因であると考えられるので、知名度を上げて資料請求数を増やすことを第一とし、また本学を具体的に知ってもらう方策として、地域連携/HP・広報委員会との共同で、電車・バス等、交通機関での広告の掲載範囲をさらに広げて実施した。

イベント企画としては、5月の保育イベントをはじめとして、WEB上で本学教員の保育関連動画を配信し、6月以降のオープンキャンパスも人数を制限しつつも、来学から



出願に繋ぐことを狙って行なった。

ただ昨年比では進学情報誌・ホームページからの資料請求者数は変わらないものの、対面での情報提供がほぼできない事態となった。コロナウイルス感染症の影響で3月から6月の重要な時期に、高校生と直接会う機会としての高校での進学ガイダンスが実施できなくなった結果、特に、認知度の低い加古川以西からの出願が激減することとなった。この減少数が、昨年度より受験者数が減少した主な原因であると考えている。

例年、オープンキャンパス来場者数からおおむね47%の出願者数が得られたが、今年度は人数制限・予約制としたため、人数も激減し、予想を立てられなかった。6月のオープンキャンパスについては、少数に絞った定員が早々に定員に達した時点で、その後の参加希望者への対処策を講じなかったため、広報を積極的に展開していた他学に流れてしまった可能性が大きいと考えられる。

ただ、一般選抜には4年制国立大学との併願者も出願しており、専攻科の存在することが4年制大学と競合できる可能性があること確認できた。

受験関連業者からの情報では、保育系の他学については厳しい状況にある一方、好調な学校もある。「神戸」の知名度やWEB上での積極的な情報提供により受験者数を確保している例もある。好調である学校に共通した理由としては、入学金・授業料等の減免、早期からの在学生参加のオープンキャンパス開催数が多いことがある。社会的に経済状況の悪化の中、学費等減免に魅力を感じ、たまたまオープンキャンパス開催回数が多い大学に出向いて志望校として早々に決定したケースも多いと推察できる。

#### 5) 研究、FD・SD等の取組

教員の研究成果を発表する機会として、『頌栄短期大学研究紀要』第45号、『頌栄短期大学保育者養成教育実践論叢』6号、7号を発刊した。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、研修会実施については積極的に行うことができなかった。

2020年度にFD委員会とSD委員会が合併したが、FDについては新しく授業支援システムを導入したこともあり、教務部が中心となってすすめることとなった。

SD活動としては、外部で実施されるon-line研修などを紹介することが中心となり、前年度からのSD活動についてはサイボウズ等で共有するにとどまり、十分に実施することができなかった。

その中で人権に関する研修については、ZOOMを活用し、講師として京都精華大学の住友剛先生にご講演いただき、実施することができた。

#### 6) 地域連携等の取組

地域連携の一環として、次の活動を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大により公開講座が中止となったが、パイプオルガン演奏会、「1995年阪神淡路大震災を忘れない」ハンドベルメモリアルコンサートの公開講座について動画配信を行った。

また、クリスマスツリー点火祭は短期大学・幼稚園教職員で行った。

学生の参加（大学コンソーシアムひょうご神戸、学生交流委員会）の活動は次のとおりであった。

- ① 学生災害ボランティア・ネットワーク事業に、4名の学生が参加し、様々な被災地の地域の方や学生とZOOMで交流を深めた。

② キッズフェスティバル 2020

1 ブースを開設し、感染予防に努めつつ、子どもたちを中心に地域の家族と交流を持った。

### Ⅲ 頌栄幼稚園の取組

#### 主な行事

4月	始業式、入園式は6月に移動
5月	・18,20,22 園庭開放・25,27,29 自由登園日・25～29 家庭訪問
6月	・1 始業式・2 入園式・3,4,5 クラス懇談会・13 年長竹馬作り ・12 花の日・母の日・父の日礼拝・24 避難訓練 ・25 年長、年中お散歩遠足・26 年少園内遠足
7月	・4 子育てセミナー・7 七夕お茶会（年長）・8 年中絵の具あそび ・9 耳鼻科検診・10,12,16 身体測定・16 内科検診・22 終業式、避難訓練
8月	・18 子育て相談・27,28 夏期保育
9月	・1 始業式・7,8 短大観察実習・10 歯科検診・16 入園説明会 ・親子運動遊び
10月	・1 願書受付・7 眼科検診・8 年少組内科検診・18 あそびまつり ・22 年少、年中遠足
11月	・4 創立記念礼拝・5 ひよこ組遠足・7 年長組デイキャンプ（神戸自然の家） ・11 お芋ほり ・13 収穫感謝礼拝・19 焼きいも大会・24,30 アドベント礼拝 ・25 避難訓練、点火祭
12月	・1～4 個別懇談・7 アドベント礼拝・9,10,11 クリスマス礼拝 ・22 おもちつき・24 終業式
1月	・7 始業式・13 園内研修会・15 一日入園 ・21 阪神淡路大震災のお話、避難訓練、ラップおにぎり作り、引き渡し避難訓練
2月	・18,19 生活発表会・25 ひよこ組説明会
3月	・園内ひなまつり・4,5,9 クラス懇談会・10 避難訓練・11 お別れ遠足 ・16 卒業礼拝・18 第132回卒業式・19 修了式

※緊急事態宣言のため4,5月は休園 必要な預かり保育のみ実施

※お誕生会毎月実施

※身体測定毎月実施

※子育てセミナー3回実施、子育て相談10回実施

※親子学級13回実施

※遊戯室の壁と天井の雨漏り後の改修を行った。

### Ⅳ 施設・設備の取組

①体育館職員更衣室（G205）および更衣ロッカー室（G202）空調機器更新工事

- (実施期間) 2020年5月  
(工事内容) 体育館職員更衣室(G205)および更衣ロッカー室(G202)の空調機器の経年劣化と容量不足への対応のため更新工事を行った。
- ②A201チャペルおよびハウ記念館1階会議室、2階チャペルのLAN配線追加工事  
(実施期間) 2020年6月  
(工事内容) 新型コロナウイルス対策のための分散授業への対応として、LAN配線未設置の教室にLAN配線追加工事を行った。
- ③A棟前仮設手洗い場の設置工事  
(実施期間) 2020年6月  
(工事内容) 新型コロナウイルス対策のためA棟入口前に仮設手洗い場の設置工事を行った。
- ④B棟北側非常口の庇設置工事  
(実施期間) 2020年6月  
(工事内容) 学生ホール老朽化による取り壊しに伴い、B棟北側非常口に雨避け庇の設置工事を行った。
- ⑤パイプオルガンの送風機交換修理  
(実施期間) 2020年6月  
(工事内容) 昨年度に故障したパイプオルガンの送風機の交換修理を行った。
- ⑥サイボウズのクラウド化  
(実施期間) 2020年6月  
(工事内容) サイボウズのサーバーは学内に設置されていたが、保守契約期限切れに伴い保守性および利便性向上のためクラウド化を行った。
- ⑦網戸設置工事  
(実施期間) 2020年8月  
(工事内容) 新型コロナウイルス対策のため各講義室、学生相談室、食堂および幼稚園事務室に網戸の設置工事を行った。
- ⑧食堂窓開閉オペレーター修理工事  
(実施期間) 2020年8月  
(工事内容) 新型コロナウイルス対策のため食堂の換気対応として窓開閉オペレーターの修理を行った。
- ⑨幼稚園園舎の雨漏り対策工事  
(実施期間) 2020年9月  
(工事内容) 幼稚園の遊戯室のステージの雨漏り対応として、事務室と保育室の建物の屋根の境目に雨漏り対策工事を行った。
- ⑩学内Wi-Fi設置工事  
(実施期間) 2020年9月  
(工事内容) A棟およびB棟にWi-Fi設置工事を行った。
- ⑪パソコンの更新  
(実施期間) 2020年9月  
(工事内容) Windows7のサポート終了に伴い、教職員用・幼稚園幼・授業用のパソコンをWindows10に更新した。
- ⑫食堂従業員控室の改装工事  
(実施期間) 2021年3月  
(工事内容) 食堂再開に向けて環境改善のため、従業員控室の改装工事を行った。

## VI 財務状況

2020年度決算については、監事監査と公認会計士監査を経て2021年5月28日の理事会で承認された。

資金収支では、実質的な予算である第1回補正予算との対比で収入は学納金5百万円、前受金で16百万円の減となったものの、寄付金4百万円、補助金28百万円の増等で計1.4百万円の微減となった。一方、支出は5.5百万円の増となった。これは、人件費はほとんど変わらないものの、教育研究経費で12百万円、管理経費で9百万円、施設・設備で18百万増が主な要因である。経費について、きめ細かな管理と地道な努力にもかかわらず、第1回補正予算に比し、6.8百万円の資金収支の悪化となった。

事業活動収支では、第1回補正予算比で収入は30百万円の増、支出は17百万円の増で、基本金繰入前当年度収支差額は20百万円増と好転し、基本金組入後は22百万円の好転となった。

しかしながら、事業活動収支差額は-105百万円とマイナス状態が継続しており、喫緊の改善対応が必要である。

今後は、中長期的財務計画の中で、入学定員の確保による収入増に努め、一方、施設設備の改修計画および支出構造の適正化努め、健全な財政基盤の確立とその維持に努めていく。